

# 2020年度 事業活動報告

## 1. 事業活動点検・評価

新型コロナウイルス感染症対策の緊急事態宣言の発出により、4月・5月は土曜日を含めて休業、5月と1・2月の2か月余りは時短営業、8月末まで土曜日休業となりました。これらの状況により、売上総額では昨年度の87.1%（4、5月を除いた10か月間では92.9%）の減額となりました。新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金（神奈川県より20万円、伊勢原市より10万円）の給付と大家さんから家賃の減額をしていただきましたが、経営状況は非常に厳しいです。

コロナ感染の売上金減少の影響で、民営協力金の支出額は、前年度から約21万円の減額となってしまいました。

ショップでは、外出自粛の影響で提供品は増加しましたが、上記のように売上額は伸びませんでした。リメイク品については、特に布マスクが好評でした。またフェアトレード品の販売を進めて「民営支援のチャリティショップ」の意義を地域社会に伝えていく努力をしました。

「WE講座」が開催できず支援先の情報を共有できなかったこと、また県央スタッフ連絡会や代表者会議が休止となり、他のWEショップとの情報交換ができなかったことや、セール等ができず、困難な運営となった1年間でしたが、スタッフやボランティアメンバーの頑張りで、乗り越えてこられました。これからも気持ちを引き締めて進めていきたいと思っております。

## 2. 事業活動報告

### (1) 資源のリユース・リサイクルを推進する事業（リユース事業）

- ①「WEショップいせはら」の運営を行いました。
  - ・市民から寄付された提供品を整理・販売しました。
  - ・エコものセンターの物流（キャリー便）を利用して、提供された品物を季節ごとに仕分けして、季節に合った品物を販売することに努めました。
  - ・今年度は、コロナ感染対策で緊急事態宣言が発出され、4月14日から5月9日まで休業を強いられました（休業日数は土曜日を含めて計21日間）。5月11日から営業を再開（時短営業）、6月1日より通常時間に戻しました。土曜日は4月から休業、9月より再開できました。また、1月12日より2回目の緊急事態宣言の発出によって3月19日まで時短営業としました。
  - ・コロナ感染予防対策（会計前の密を避けるため1m以上の間隔をあける、ビニールカーテンを設置、ショップ内の換気を行う、ショップスタッフ・ボランティアはマスクをつける、ショップ内に消毒液を配置する等）を行いながら営業しました。また密になるセールは実施しませんでした。
  - ・コロナ感染対策をしながら、売上額を伸ばすために、随時、一定額のお買い上げをいただいた方に半額券を配る等の対策を実施しました（下記参照）が、4・5月の休業の影響が大きく、全体的に売り上げ額は低調でした。
  - ・コロナ禍の中で、ボランティアの参加は自己申告でお願いしましたが、ほとんどの方がいつもどおりの参加をしていただきました。
  - ・ボランティアミーティングは密になる恐れがあるので中止としました。12月の大掃除終了後に、基本的な接客接遇をまとめたマニュアルをボランティアの方に配布して内容を確認し共有しました

	昨年度実績
営業日数：	250日 (284日)
売上：	4,538,687円（月平均378,224円） (5,210,006円)
来客数：	延8,397人（月平均700） (9,206人)

提供者数： 延 1,798 人 (月平均 150 人) (2,014 人)  
ボランティア：延 628 人 (月平均 52 人) (712 人)

・ 次の企画を行いました。

2020 年 6/8～12 陶器・ガラス市  
6/23～26 18 周年記念企画 (半額券配布)  
7/20～22 夏物セール代わりに、半額券配布  
9/23～25 バッグ・アクセサリーフェア  
11/16～30 冬物セールの代わりに、半額券配布  
2021 年 1/7～15 お年玉券代わりに、半額券配布  
2/24～27 和もの市  
3/15～19 リメイク品展示会

② 寄付された品物で販売に適さないものは適正に処理をしました。

- ・ 衣類・カバンは、WE21 ジャパンが提携している W. Co キャリーの運送に託し、ナカノ株式会社のファイバー工場へ搬入しました。
- ・ 廃棄物 (焼却ごみ、陶器、金属類、プラスチック類) は、(有) タチオカ商会と契約し、可燃ごみ・不燃ゴミを分別し排出しました。
- ・ 綿製品のファイバーの一部は、小規模多機能施設「風の丘」でウエスとして利用していただきました。
- ・ むいぐるみは、障がい者地域作業所「工房小野橋」で活用していただきました。

③ 資源の活用や民際支援のために利用できるものの集積場所としてショップを活用しました。

- ・ 世界の子どものために使われている「ユニセフ外国コイン募金」の収集に協力しました。
- ・ フードドライブを 10 月と 3 月に実施し、集まった食料品等は「NPO 法人フードバンクひらつか」に届けました。この団体は、平塚市・社協などから依頼のある生活困窮世帯やひとり親家庭等に食料品を届けています。
- ・ マスクや男性冬物衣料等を「寿地区センター」に届けました。
- ・ 今年度から、「グリーン・ダウン・プロジェクト (GDP)」に加入し、羽毛布団やダウンジャケットの回収拠点とし、回収の協力を始めました。

④ リメイクチームが活動しました。

毎月第 1 日曜日の午後、ショップバックヤードにて行う予定でしたが、コロナ対策の影響で、お休みや話し合いとなった月が多くなりました。

今年度のリメイク品の売上額は 50 万円以上となりました。今年度前半は、特に布マスクが好評でした。後半は和服のリメイク衣料の販売が伸び、売上額増につながりました。

6 月 7 日	2020 年度の活動予定について話し合い	8 人
9 月 6 日	リメイク作品展の内容の相談	8 人
10 月 11 日	リメイク作品展の準備	7 人
11 月 1 日	クリスマスオーナメント作り	9 人
1 月 10 日	着物フェア準備	4 人
2 月 23 日	着物ほどき	6 人
3 月 7 日	リメイク作品展の準備	4 人

⑤ スムーズなショップ運営と事業経営のため、WE21 ジャパン主催の講座に参加し、情報収集に努力しました。なお、県央ショップスタッフ連絡会は、今年度はコロナ感染症対策のために開催ができませんでした。

11 月 20 日 WE21 基礎研修 (2 名参加)

《日時》	通年
《場所》	伊勢原市石田（WEショップいせはら）
《従事者》	理事 6名、ボランティア 実人数 15名
《受益対象者》	主に伊勢原市石田周辺在住の市民
	顧客数 8,397名、 寄付者数 1,798名
《支出額》	4,358,596円

## (2) アジア等における市民、とりわけ女性の生活の向上と自立のための活動を支援する事業（民際支援）

### ① WE 21 ジャパン・伊勢原の支援事業

2020年度の民際支援費は、国外に97,592円、国内に59,224円、合計156,816円（前年度368,228円）で、前年度より約21万円の減額となりました。

支援先・金額等の討議決定は、理事会で行いました。支援先の担当者を決めて分担して対応することとしました。

#### ●2020年11月5日、2021年3月23日

団体名：特定非営利活動法人 ザ：ピープル

国名：日本（福島県）

金額：49,224円

売上金（2020年9月11日：12,530円、2021年3月11日：20,330円）

店頭募金 16,364円

内容：東日本大震災から10年目の年。前年度に引き続いて、福島県いわき市で古着のリユース・リサイクル事業を行なっている法人の活動、特に震災後は地域農業振興のためコットンを栽培して綿製品の生産をめざすコットンプロジェクトに対して支援を実施している団体に送金しました。

継続：9年目

#### ●2020年11月5日、2021年3月10日

団体名：幼い難民を考える会（CYR）

国名：カンボジア

金額：42,000円

布チョッキン32,000円（お人形12体・ボール40個）、助成金10,000円

内容：就学前教育が遅れている農村地域に「村の幼稚園」を開設し、4年目からは地域運営に移行できるよう支援しています。また識字率が低い地域の女性たちに対して理解を深める活動をしています。2020年度は昨年に引き続いてに、10月の「貧困なくそうキャンペーン」の期間に、「布ちょっきん」を実施、布ボールの裁断は店頭でお客様とボランティアの方にご協力いただいて実施しました。

継続：2年目

#### ●2021年2月2日、3月10日

団体名：日本イラク医療支援ネットワーク（JIM-NET）

国名：イラク・シリア・日本（福島）

金額：24,150円（チョコ募金14,150円、助成金10,000円）

内容：チョコ募金（イラク・福島の子どもたちとシリアの難民を支援するための募金）に協力、及び活動に対する支援金は、イラク小児がん支援、イラクに逃れてきたシリア難民妊産婦やイスラム国の迫害にあった女性たちの支援などを行っています。

継続：5年目

#### ●2021年3月10日

団体名：FGM廃絶を支援する女たちの会（WAAF）

国名：2020年度の反FGM基金の支援先は未定

金額：20,000円（反FGM基金10,000円、日本支部10,000円）

内容：アフリカの少女たちの健康と人権を守るため、女性器切除という悪習を廃絶するための活動。日本支部の活動は、ゼロトレランスデー記念行事、ニュースレター発行等。

継続：16年目

●2021年3月2日、10日

団体名：日本国際ボランティアセンター（JVC）

国名：アフガニスタン

金額：20,452円（みらい貯金10,452円、助成金10,000円）

内容：アフガニスタンにおける地域教育/識字アクション、識字教育教員の選定、教員研修、教室運営、啓発活動を計画的に実施しました。

継続：4年目

② フェアトレード品等の販売

・ジンジャーティ（フィリピン）、シサムコーヒー（フィリピン）、オリーブ石けん（パレスチナ）の販売をしました。

・「第3世界ショップ」から、チョコレート、ドライフルーツ、カレー、ココア、チャイパック等を卸購入し販売しました。

③ 東日本大震災から10年を迎え、復興支援のために、気仙沼のわかめ・昆布の業者、石巻市地域作業所が扱っているサバ缶・サンマ缶の販売を行いました。

④ 支援の充実のためWE21ジャパン主催等の講座や学習会、NGO等の報告会に参加し、情報収集に努力しました。

8月4日 アフガニスタン連絡会

8月29日 WAAF 報告会「私はなぜ日本でFGM廃絶運動を始めたか」  
(ヤンソン柳沢由美子氏講演) (Zoom)

9月15日 アフガニスタン連絡会

12月11日 コーヒーの森づくり事業連絡会

12月14日 JVCアフガニスタン事業説明会 (Zoom)

2月5日 アフガニスタン連絡会 (Zoom)

2月11日 しょうがパウダーミーティング (Zoom)

2月25日 しょうがパウダーミーティング (Zoom)

《日時》	通年
《場所》	アジア・アフリカ地域、伊勢原市、いわき市
《従事者》	理事 7名
《受益対象者》	アジア・アフリカ地域の団体、東日本大震災被災地
《支出額》	328,512円

(3) 地域市民の国際的な意義の自覚を促進する事業（共育活動）

支援事業・資源循環事業を推進していくうえで必要な情報を共有する場として「WE講座」を年3回の開催を予定していましたが、コロナ感染防止の観点から、今年度は開催ができませんでした。

《日時》	通年
《場所》	WEショップいせはら
《従事者》	理事 7名
《受益対象者》	近隣市民
《支出額》	5,440 円

#### (4) この法人の事業の広報普及を図る事業（広報活動）

- ① WE 21 ジャパン・伊勢原の活動を伝える「WEニュース」を発行しました。  
年4回程度の発行を計画しましたが、WE講座の開催がなかったことなどから、年2回の発行となりました。「WEニュースCM版」は、随時市内に配布しました。(約1,000部配布)  
No. 61 (2020年6月1日発行) 開店から18周年、認定NPO法人認可、ガラス・陶器市案内、2019年度支援先一覧  
No. 62 (2020年9月20日発行) 布ちょっきんにご協力を！  
フードドライブ案内、フェアトレードってなに？ 羽毛の回収を始めます！
- ② いせはら市民活動サポーターズ（アイサポ）主催の「アイサポ Week」に参加しました。団体紹介、開発教育教材「今日はフェアトレードの日!？」を使用したワークショップ、フェアトレード品の紹介を行いました。(3月16日・19日)
- ③ 店内の掲示・パンフ類は、国内外の支援先の情報を掲示しました。
- ④ キャンペーン、WE講座、セール等の案内の掲示を行ないました。

《日時》	通年
《場所》	WEショップいせはら
《従事者》	理事 7名
《受益対象者》	近隣市民
《支出額》	1,618 円,

### 3. 事業を進めるための組織活動

#### 1) 組織活動

- ・理事会は、毎月、原則として第1土曜日午前に開催し、計画に沿って提案・討議し、実行しました。
- ・会員数は30名です。新規のボランティアの方に入会を募りましたが、転居等によって2名の方が脱会されました。
- ・会計ソフトの導入については、今年度はできませんでした。
- ・WE 21 ジャパン・伊勢原のHPに活動予定や報告を掲載しました。

#### 2) WE 21 ジャパンおよびWE 21 地域NPOとの連携

- ・WE 21 ジャパンの団体会員になっています。(団体会費 50,000 円)
- ・WE 21 ジャパンとの契約に基づき、年額 479,425 円（物流事業費 335,285 円、商標使用料 120,000 円、活動推進費 24,140 円）を、WE 21 ジャパンに事業委託しました。(昨年度は年額 504,349 円)。WE 21 ジャパンでは、WE 21 地域NPOの中間支援組織としての活動経費（人件費、事務所費、広報、情報の収集・分析・発信）、および物流管理などの事業を行っています。

- ・ 理事長・会計担当者・スタッフ・ボランティアが、グループ会議、支援連絡会等に参加・協力しました。

3) 地域および他団体との連携

- ・ 県立伊勢原養護学校伊志田分教室の生徒 2 名のインターンシップ研修に協力しました。コロナ対策による休校や研修休みの期間を除き、11月から毎週火曜・木曜の10時30分より12時まで、担当の教師と連絡をとってトラブルもなく協力できました。
- ・ 市内の環境に関わる活動を行っている団体の連携組織である「いせはら環境ネットワーク」(エコネット)に参加しました。

7月13日 総会及び講演会参加

11月～2月 伊勢原市クールチョイス事業、ウォームシェア協力

1月23日 見学・研修会(海洋プラスチック汚染とエコストア)(6名参加)

3月20日 見学・研修会(高速道路建設に伴う大気汚染防止対策)(2名参加)

- ・ 市民活動サポートセンターに登録して、印刷機等を利用しました。  
3月16日・19日 アイサポ Week では、Zoom にて活動紹介等の参加をしました。
- ・ 石田商工振興会に加入しています。
- ・ 石田自治会に加入しています。

4) WCA(女性・市民コミュニティバンク)に団体会員として、30万円を出資していましたが、脱会を申請しました。2021年6月予定の総会で承認後に返金される予定です。

5) 納税額

2019年度の税金は、86,300円(前年度は192,900円)を支払いました。

《日時》	通年
《場所》	WEショップいせはら
《従事者》	理事 7名
《受益対象者》	近隣市民
《支出額》	127,926円